

実践報告資料

研究テーマ『豊かな人権感覚を醸成し、思いやりの心や人権課題を解決しようとする態度を育成する』
 研究内容【(1)、(2)、**③**、**④**】※重点的に取り組む内容に○を入れる。

学校名（ 赤穂市立坂越中学校 ）

ア 人権教育としてのねらい

- ・ 人権を大切にする心を育成しながら、偏見、差別、いじめの解消に努める。
- ・ 複雑化する国際社会、情報・ネット社会の中で、望ましい人間関係の構築を図る。

イ 研究の概要

- ・ 赤穂特別支援学校との交流を深め、思いやりの心の育成や人権教育を推進する。
- ・ いじめ調査や教育相談のあり方を研究し、SNS など情報・ネット社会の活用と危険性について学習する機会や自分たちのルール作りを進める。
- ・ 各教科、道徳の時間や学級指導を通して、生徒の人権意識の高揚を図る。
- ・ 「困り感に寄り添う教育」の研究を推進しつつ、教師自身の指導力を高めるだれもが分かる授業をする。
- ・ 保護者、地域、関係機関との連携を図る。

領域	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	英語教諭・TT、ALT	全学年担任	1年担当	末岡新太郎・篠原嘉一
実施日	6月2日	10月27日など	6/14. 6/16. 6/29. 7/5	5月11日・9月2日
取組名	協同学習	情報モラルの向上と人権感覚の育成	赤穂特別支援学校交流	①人権講演会 ②情報教育講演会
目標	協同学習を通して、自分の考えや表現を英語で話したり、書いたりする使いこなせる言語活動へ導く。	情報モラルや情報リテラシーを正しく理解し、相手を尊重し、共によりよく生きる態度を養う。	交流を深め、思いやりの心の育成や共に生きる意欲を養う。	命や人権を守り、いじめや暴力のない人間関係を作ろうとする意欲を持たせる。
資料名	PROGRAM 3 What Can We Do for Others?	ケータイ・スマホ…あなたは大丈夫？（きらめき）	/	/
指導内容や指導方法の工夫等	学習課題を明確にし、トランポリン課題やはしご課題を精選する。 授業公開して、授業参観する先生たちに班ごとに担当を決め、発問と生徒の反応を時系列に記録しておく。授業後の研究協議で生徒の学習の考えがどのようにつながっていったかを確認する。	毎年外部講師を招聘して講演を聴いているので、それを振り返らせた。 責任を持った SNS 等の利用ができています。事例ごとに意見交換をして受け取り方の多様性を知る機会をもたせた。 各自が普段の生活に学んだ情報モラルが、いかせるよう保護者にも学習内容の理解を広めていく。	赤穂特別支援学校との交流会は、平成元年より継続して実施されており今年で 28 年目を迎える。今年度は、まず道徳で障がい者理解を深め、ビデオ通話による自己紹介で訪問前にお互いを知ったり、ダンスを教えてもらったりして交流会への意欲を高めた。 3 学期は本校へ来てもらう予定だったが、流行性感冒のためビデオ通話交流に変更。	5/11 は、1・2 年生の学年単位で講演とアクシオン練習などの実技をまじえて学習した。ちょっかいをかけて楽しい生徒にも痛みや暴力の恐ろしさを体験させ、いじめ防止を図った。 9/2 は、SNS を使っていることや犯罪に利用されやすいこと、トラブルになる書き込みや取り扱いについて講演を聴き学習した。

